

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
電話 (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 大場 雅信
一第10号

メールアドレス
naga-kks@fnet.or.jp

長崎高教組第83回定期大会開催！ 高教組運動に確信を持って 組織拡大にとりくもう！

組織拡大にとりくもう！

長崎高教組は6月21日(土)、大村市民会館で第83回定期大会を開催しました。参加者は県内各地から代議員66人、特別代議員3人。来賓として、高退教伊東会長、日高教加門委員長が参加し、参加者を大いに激励しました。日高教加門委員長は、今後の教職員組合の展望を見据えて、全教と日高教の運動の一体的発展の必要を呼びかけました。大会の討論では、1年間取り組んできた高教組運動を総括するとともに2012年度のとりくみ方針を支持する様々な意見が発表されました。特に、組織強化・拡大の分野での活発な議論交流は、長崎高教組がおかれている厳しい現状の認識のみにとどまることなく、「公務員への攻撃を跳ね返すのは未組合員への訴えが必要」、「臨時採用者への声かけを強くすすめるべき」など、高教組の組織強化・拡大の必要性を参加者全員が共有する場となりました。討論後、すべての議案が参加者の満場一致で承認され、第83回定期大会を終了しました。



第83回定期大会

今年度は、大会方針、本部の提起をきちんと実行したい。団体開催に関する問題で、新採1年目、2年目の人に絞って声かけをしてみようと思っ



西陵 錦戸代議員

は仕事が終わって来て悩みが多いように見える。いろんなことで相談に乗っている。教科の組合員がゼロのところは声かけが



佐世保商業 井野口代議員

職場内だけでなく部活動などの知り合いにも加入の声かけをしている。声かけの材料として全教拡大リーフを活用した。他職場の声かけをした対象者の分会長には、「声かけをした」ことはきちんと伝えていく。声かけを広げることが大切だ。



小浜 日高代議員

給料が減り、勤務条件が悪化する」と組合員は増えるはずだと思っ



佐世保工業 池田代議員

組合員でなくても組合が獲得した賃金改善や権利など同じメリットが得られるという根本的な問題があるように思う。この問題があるので、組合加入の呼びかけがしにくいと感じている。実際に組合を脱退した人も同じ感想を持っている。このような中では、準組合員制度のようなものも考えるべきではないか。また、組合員がデメリットを感じないような制度も考えるべきだ。このまま



諫早商業 末岡代議員

の要求がほぼ実現した。教職員の一一致した要求と粘り強い運動があれば、要求は実現することを示している。分會が集まり、要求を出し合い職場全体の要求としてつくりあげ



長崎鶴洋 深松代議員

組織強化・拡大のとりくみ

取り組むことが必要だと思っ

う。憲法・教育の課題については、第一に、改憲が国会論議の対象になり

では、再入学の生徒に対する授業料の徴収が行わ

れた要求と粘り強い運動があれば、要求は実現

することを示している。分會が集まり、要求を出し合い

大場委員長あいさつ
政治が変わると国民が期待した民主党政権は、政権公約を投げ捨てた国民の反対の声を無視した数々の悪政を強行していた。第一に、原発の経済面・安全性の欺瞞が東日本大震災でさらけ出されたにもかかわらず、福井大飯原発の再稼働を決定したことです。福島原発

人減税。富裕層への課税優遇はそのままで。全体で財政赤字解消にとりくむべきなのに、先進性の高い消費税の逆

の学びを支えよう」との論を大きく広げることが必要です。第三に高校教育政策の課題です。中教

審・高校教育部会では高校教育に質保証が必要と

うとする意識が確実に組合員の中に広がって

の再稼働に国民の大多数が反対しています。第二に、社会保障と税の一体改革の問題です。財政赤字の原因は、法人税減税と富裕層への優遇税制に加えて大企業が内部留保をふくらませ続け、労働者への利益再配分を怠ってきたことにあります。野田首相は、財政赤字解消の柱として消費増税を行う一方で、さらなる法

に、社会保険と税の一体改革の問題です。財政赤字の原因は、法人税減税と富裕層への優遇税制に加えて大企業が内部留保をふくらませ続け、労働者への利益再配分を怠ってきたことにあります。野田首相は、財政赤字解消の柱として消費増税を行う一方で、さらなる法

に、社会保険と税の一体改革の問題です。財政赤字の原因は、法人税減税と富裕層への優遇税制に加えて大企業が内部留保をふくらませ続け、労働者への利益再配分を怠ってきたことにあります。野田首相は、財政赤字解消の柱として消費増税を行う一方で、さらなる法

に、社会保険と税の一体改革の問題です。財政赤字の原因は、法人税減税と富裕層への優遇税制に加えて大企業が内部留保をふくらませ続け、労働者への利益再配分を怠ってきたことにあります。野田首相は、財政赤字解消の柱として消費増税を行う一方で、さらなる法

に、社会保険と税の一体改革の問題です。財政赤字の原因は、法人税減税と富裕層への優遇税制に加えて大企業が内部留保をふくらませ続け、労働者への利益再配分を怠ってきたことにあります。野田首相は、財政赤字解消の柱として消費増税を行う一方で、さらなる法

西陵 富永代議員



日頃の職場でのつながらの中で、声かけがすすんだことを報告する。若い担任の先生に特別休暇の意味を話したことがきっかけで高教組と互助組合の区別ができていないことを知った。労働組合のことを説明したが、長崎高教組のとおりくみで労働条件、権利の改善など前進した経過を話すことができた。全教の機関誌「クレスコ」も渡した。また、退の理由も聞いていたが、過去の労働戦線問題などを脱退の理由として挙げていたが、丁寧に伝えている。話す中で気持ち傾いている人もいた。今後とも対話を続けていこうと思っている。

諫早特支 石橋代議員



4月に3人加入。非常勤の方。日頃はあまり話す機会がありませんでしたが、2年前に懇親会で隣の席に座る機会があり、声かけをしました。その後も粘り強く対話を続けていました。非常勤の雇用問題で、3年の有期雇用が5年に延長されたことなどを説明する中で3月に加入を決心してもらいました。声かけや相談にのることを継続することが必要だと感じました。

西彼農業 宮崎代議員



支部の組織強化・拡大のとおりくみを報告した。西彼支部は3分会の支部であるが、組合活動はほとんど行われていない状況であった。現在組合員数は16人。支部の会議には集まりが悪かった時期があったので、3年前から支部全体での食事会を計画した。ほとんど組合員が参加し、好評

諫早東 板橋代議員



臨時採用の人が6人いる。教員採用試験対策学習会への参加のすすめたところ1人が参加してくれた。とても良かった。との感想であった。また、臨時採用者のためにも教員採用試験1次試験免除除か教えてほしい。

実習教員の2級格付け問題



大村工業 中嶋代議員

実教部の2級格付け問題について発言する。昨年度の現給保障問題では、実習教員の賃下げ額の大幅縮減の結果に大変感謝している。05年度の2級格付けは残ったものの多くの実習教員が1級格下げとなった。現給保障があったので、実際の手取りは大幅に下がらなかった人が多かったが、今回の現給廃止提案では、減額幅が縮減されても大きな被害を被ることになる。今年度、2級格付け問題で改善の方向が出てくるが、この点に関して実教部のとりくみへの支援をお願いしたい。

再任用に関わる問題



島原商業 原口代議員

再任用の配置が偏りすぎている。再任用者が6人の島原湘南分会などでは、行事の参加が難しい、補習が限定され正規の教職員の負担となつていて、再任用者が長距離通勤を強いられる、時間割の変更ができないなどいろいろ問題が出てくる。改めて、再任用者の定数外での任用を要求すべきだ。

実教部 浦本代議員



実習教員の中には昇級が全くないという人が多くいる。05年度に、2級だった人の中で、多くの人が1級格下げとなり、しかも、2級への格付け年齢が50歳とされたから。以来、この問題で長く闘ってきたが、12年度に改善の兆しが見えてき

佐世保商業 井野口代議員



佐世保商業でも再任用2人、臨時任用者1人がある。コミュニケーションがとれなくて存在感が薄い。職員会議には出席しないので、時間割が変わることさえ連絡できない。授業に支障がでることもある。再任用も含めて臨時的任用が多い学校では、学校運営が難しくなってくるのではないかと。定数内の任用では、現場としては迷惑だ。教

教職員の権利等に関わる問題



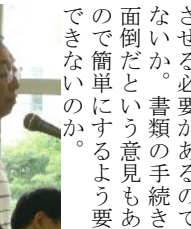
大村定時 濱本代議員

7月15日に定通定期大会を開催します。スクールソーシャルワーカーの講演があるので是非参加してほしい。昨年日高教の学習会でスクールソーシャルワーカーの話聞く機会があり、大変ためになった。教員だけでは対応できない問題にも対応できることがある。

大村工業 中嶋代議員

新しい振り替え制度が実施されたが、制度の活用は難しいのが現状だ。振替日をいつとれるのかわかっていない人もいる。制度の運用がしやすくなるよう管理職に徹底させる必要があるのではないかと。書類の手続きも面倒だという意見もある。ので簡単にするよう要求できないのか。

長崎工業 峰代議員



初任者研修で、研修量が膨大になっている。基本的に報告書はいらぬという立場での要求が必要ではないか。また、社会研修は土日が多いの

勤務とはならない。振り替えが必要だとその要求を本部でしてほしい。



女性部 百田特別代議員

女性部でアンケートを採りましたが、その中で、多忙化とパワハラの問題を指摘している声が多くありました。別の問題は同じです。育児休暇や介護休暇は取りにくい状況にあり、また、これらの休暇を知らない人も多くいます。管理職が休暇取得を積極的におすすめない。育児時間も120分では短すぎるという問題もあります。子供の学校行事参加休暇の新設が必要だと思えます。また、女性部で「放射能を考える」学習会を開催します。宣伝をお願いします。

小浜 日高代議員

島原半島内の高校新入生テストについて報告。中学校間格差が明らかになるなど問題点が多い。すでに到達度テストなど学校ごとに実施しており、統一テストは学校の実情にあつていないことは明らか。中学校によつては、半数以上の生徒が半島内の公立高校に進学しない状況がある中、統計の取り方は全く無意味だ。早急に廃止させるべきだ。

全教第44回中央委員会

「神障教組」の全教加入を 満場一致で承認！

6月20日、全教第44回中央委員会が開催され、長崎高教組から馬場書記長が参加しました。夏から秋にかけての運動方針を中心に、11年度会計決算などを含む6つの議案について討議がおこなわれました。第1号議案では、神奈川県立障害児学校教職員組合(略称：神障教組)の全教加入が、満場の拍手で承認され、全教結成以後、7番目の新加入が実現しました。神障教組は、これまで全国組織に加入していませんでしたが、昨年1年間の議論を経て、組合員の全員投票の結果、賛成多数で全教加入を決定。挨拶にたった神障教組の代表は、特に障害児学校の過大規模・過密化解消のとりくみをすすめたいと抱負を述べるとともに、全教加入後のとりくみに「ワクワク感がある」と期待を表明しました。加盟組織の拡大という前進を受けて、当面闘争についての討論では、公務員賃金引き下げや原発再稼働に積極的に対峙するとりくみの報告や、教育政策のゆがみに対抗して「参加と共同の学校づくり」をすすめる決意など、活発な議論がおこなわれ、全ての議案が圧倒的多数の賛成で可決されました。



神障教組の全教加入を記念して 全教が寄贈した組合旗